



市消防団、創立100周年という節目の年に、県消防操法大会に優勝して、初めての全国大会出場達成

碧南の消防団は、大正7年4月1日に消防組として発足、その後昭和14年に警防団と改称。また、昭和29年より現在の1市1団制となっています。

市消防団第三分団は今年7月28日、稲沢市で行われた第63回県消防操法大会において、小型ポンプの部で優勝し、今年10月19日に富山市で行われる全国大会に出場します。100年の消防団の歴史のなかで初めてのことです。快挙です。

昭和31年より県消防操法大会が開催されていますが、過去碧南消防団が入賞した年は、昭和33年4位、34

年3位、41年4位、45年4位、53年2位、55年3位、平成13年7位、14年優勝（この時は、ポンプ車の部での優勝であり、全国大会へは不出場）、15年7位、20年9位です。

市消防団は、昭和45年度より現在の5分団（第一分団新川地区、第二分団大浜地区、第三分団棚尾・中山地区、第五分団旭地区、第六分団西端地区）制を採っていますが、その特徴は、平成18年度より消防団2年消防予備隊3年の5年間で卒業していく方式をとっていることです。そんなこともあり、団員が大変若く、各種災害時でも十分に活躍していただけの体制となっているのです。

少子化や自営業者の減少などにより、消防団員の確保には苦労しています。平成19年度以降の消防団数は、19年度98人、20年度98人、21年度96人、22年度95人、23年度101人、24年度101人、25年度97人、26年度94人、27年度95人、28年度94人、29年度99人、30年度96人です。

市は、平成28年度より企業防災力向上研修支援補助金（消防団の2年間に對して1年当たり25万円／人の補助金を団員排出企業に對して支給）という全国一の優遇制度を設けて、消防団の確保を図っています。

消防団での訓練は、人生や企業に大きなプラスの作用を発揮します。若い市民の皆様、企業の皆様、「世界に誇る碧南市消防団」に積極的に参加してみてください。

衣浦東部広域連合ニュース

問合せ 衣浦東部広域連合事務局 ☎(63)0131

8月24日に衣浦東部広域連合議会定例会が刈谷市役所で開催されました。

議会では4人の一般質問のほか平成29年度衣浦東部広域連合一般会計継続費の精算についての報告、29年度一般会計歳入歳出決算認定、30年度一般会計補正予算についての議案が可決されました。

歳入 (単位 円)

科目	予算現額	収入済額	構成比	収入率
分担金および負担金	5,074,142,000	5,074,142,128	94.6%	100.0%
使用料および手数料	15,633,000	20,180,600	0.4%	129.1%
国庫支出金	9,666,000	9,666,000	0.2%	100.0%
県支出金	86,000	58,000	0.0%	67.4%
財産収入	6,704,000	6,722,538	0.1%	100.3%
寄附金	1,000	0	0.0%	0.0%
繰越金	232,927,800	232,927,672	4.3%	100.0%
諸収入	16,235,000	23,117,182	0.4%	142.4%
計	5,355,394,800	5,366,814,120	100.0%	100.2%

●今回選出の衣浦東部広域連合議会議員（議席番号順、敬称略）

刈谷市選出 外山鉦一、鈴木浩二、上田昌哉、鈴木絹男

平成29年度衣浦東部広域連合一般会計歳入歳出決算を認定

歳入総額は53億6,681万4,120円、歳出総額は51億7,233万1,150円、差引残額1億9,448万2,970円となりました。歳入では、関係市の分担金が50億7,414万2,128円で全体の約94.6%を占めています。歳出では、消防費が47億5,720万5,145円で全体の92.0%を占めています。

歳出 (単位 円)

科目	予算現額	支出済額	構成比	執行率
議会費	2,336,000	2,091,328	0.0%	89.5%
総務費	228,840,000	203,329,899	3.9%	88.9%
消防費	4,893,755,800	4,757,205,145	92.0%	97.2%
公債費	210,463,000	209,704,778	4.1%	99.6%
予備費	20,000,000	0	—	—
計	5,355,394,800	5,172,331,150	100.0%	96.6%